

堆厩肥を連用している上場地域のタマネギほ場では有効態リン酸とカリが過剰に集積している					
[要約] 佐賀県上場地域のタマネギ栽培農家35戸のうち6割以上で6トン/10a以上の堆肥が投入されている。また9割以上の畑で有効態リン酸およびカリが基準値を超えている。					
上場営農センター・研究部 畑作・経営研究担当				連絡先	0955-82-1930 uwabaeinouserenta@pref.saga.lg.jp
部会名	上場営農	専門	栽培	対象	タマネギ

[背景・ねらい]

上場地域では肉用牛の飼育が多く堆厩肥を積極的に使用できる環境にあり、タマネギ栽培農家では堆厩肥を大量に投入して栽培している事例がある。

そこで現地での堆厩肥投入量の実態と土壌化学性について明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 上場地域のタマネギ農家がほ場に投入する堆厩肥量は全 35 農家のうち約 60%以上で 6 トンを超えている (図 1)。
2. 有効態リン酸の適正範囲は 100g あたり 20～50mg であり、分析した全 321 ほ場のうち 9 割以上でこれを上回る量の有効態リン酸が集積している (図 2)。最も多いほ場では、基準値の 18 倍となる 900mg/100g を含有されている。
3. カリの適正範囲は 100g あたり 15～30mg であり、分析した全 321 ほ場のうち 9 割以上でこれを上回る量のカリが集積している (図 3)。カリ基準値の 3 倍にあたる 50～100mg/100g を含有しているほ場が約 6 割である。

[成果の活用面・留意点]

1. 本成果は 2011 年～2012 年にかけて佐賀県上場地域タマネギ農家への聞き取り調査と、現地ほ場の土壌分析結果から得られたものである。
2. 堆厩肥を連用している当該地域のタマネギほ場には塩類が集積していることから、土壌診断に基づいた減肥が必要である。

[具体的データ]

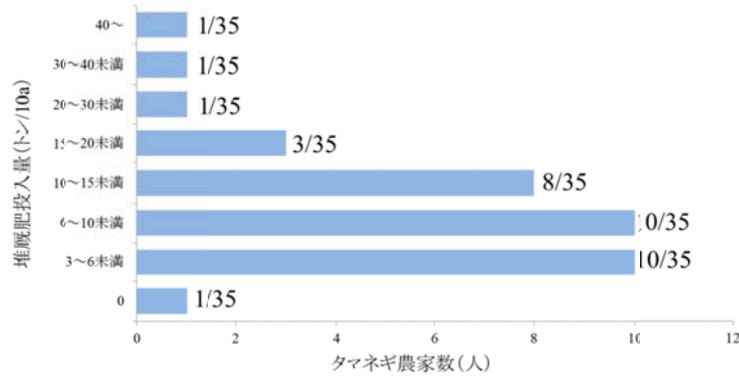


図1 上場地域内タマネギ農家がほ場に投入する堆肥の量は6割以上で6トンを超えている
※35名のタマネギ農家に聞き取り調査

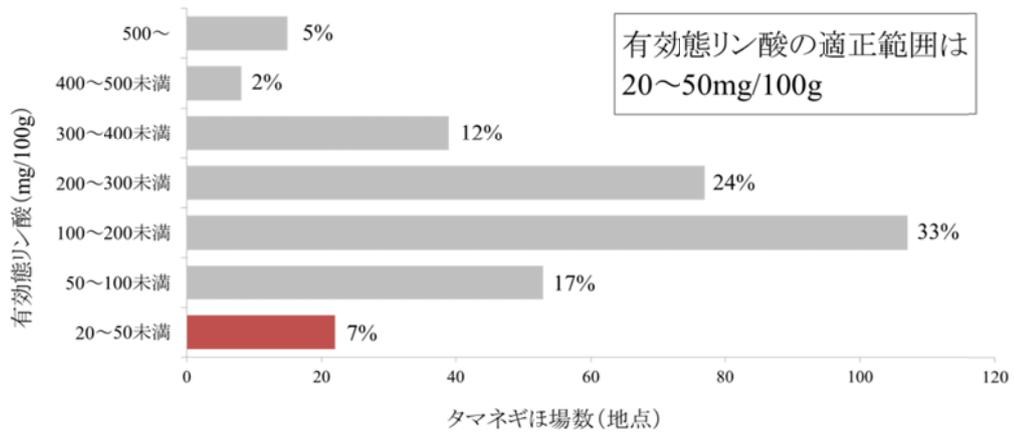


図2 上場地域タマネギほ場の土壌中有効態リン酸含量は9割以上の地点で適正範囲を超えている
※試料は上場地域のほ場321地点から採取した
※有効態リン酸の適正範囲については佐賀県農作物等診断マニュアルから引用

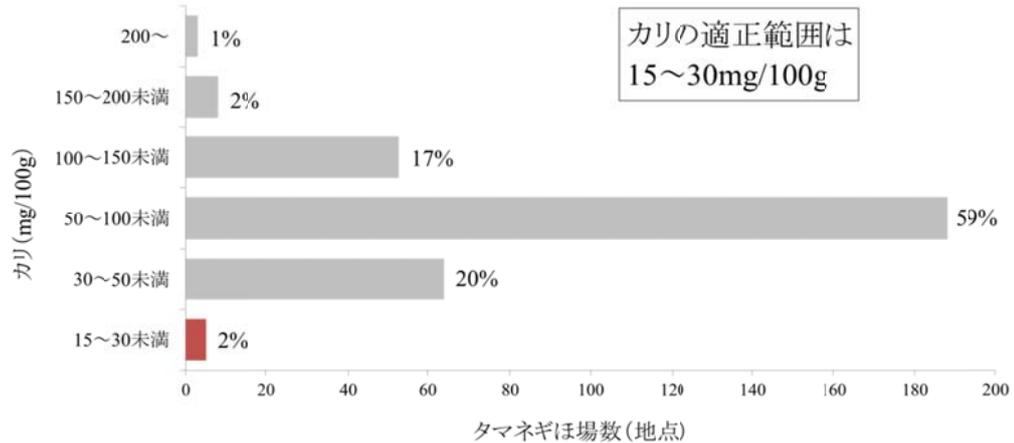


図3 上場地域タマネギほ場の土壌中カリ含量は9割以上の地点で適正範囲を超えている
※試料は上場地域のほ場321地点から採取した
※カリの適正範囲は農業技術体系から引用

[その他]

研究課題名：畑作地域の堆肥連用圃場における特産物の低コスト作付け体系の確立
 予算区分：県単
 研究期間：2010~2015年度
 研究担当者：田中 守, 正司和之